

記者発表資料

茨城県立農業大学校の学生が 道の駅「かつら」で実習をおこないます。

国土交通省では、地域の観光資源や魅力が集まっている「道の駅」を、観光振興や地域づくりを学ぶ学生の実習の場として活用することを進めています。

全国「道の駅」連絡会が全国の大学と「『道の駅』就労体験型実習の実施に関する基本協定」を締結して調整を行った結果、約60名の学生が全国33（別紙1）の「道の駅」で夏季休暇を利用して実習を行うこととなりました。

茨城県立農業大学校も協定を締結（平成27年3月30日）したところですが、この度、2名の学生が「道の駅かつら」において実習を行うこととなりました。

実習では、道の駅の駅長業務全般に携わりながら、道の駅を若者の向けにPRするためのSNSによる情報発信等を企画・実践します。また、城里町内の農家へホームステイし、農業実習を通じて地域住民と交流を図ります。

- 1 実習実施場所 道の駅かつら
(東茨城郡城里町御前山37 TEL 029-289-2334)
- 2 実習生 茨城県立農業大学校 農業部農学科1年生 2名
- 3 実習期間 学生1 平成27年8月8日(土)～13日(木)
学生2 平成27年8月11日(火)～16日(日)
- 4 実習内容
 - (1) 「道の駅」駅長業務
 - ・道案内、施設の清掃、接客、レジ打ち、商品の受入・袋詰め・陳列
 - ・SNSによる情報発信等の企画・実践
 - (2) ホームステイ先農家での農業実習
 - ・ナシ、アスパラガスの収穫・選別 等

なお、現地で取材をおこなう場合は、盆期間中のため一般のお客さんと混雑することが予想されますので、事前に取材日時等の連絡をして頂くようお願いいたします。

発表記者クラブ	
竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ	
お問合せ先	
国土交通省 関東地方整備局 常陸河川国道事務所	
副 所 長	とがわ かずひこ 外川 和彦
計 画 課 長	いいた ひろゆき 飯田 寛之
住 所	茨城県水戸市千波町1962-2
電 話	029-240-4061 (代表)
茨城県農業総合センター農業大学校（茨城県立農業大学校）農業部	
農学科長	よこすか ともゆき 横須賀 知之
住 所	茨城県東茨城郡茨城町長岡4070-186
電 話	029-292-0010
道の駅「かつら」	
店 長	やつ やすお 谷津 安男
住 所	茨城県東茨城郡城里町大字御前山37番地
電 話	029-289-2334

道の駅「かつら」での実習概要

茨城県しろうさと城里町にある道の駅「かつら」は、山紫水明の御前山と清流那珂川なかがわを望む素晴らしい景勝の地に立地しています。

「自然豊かな地に居住・就職を考えたい」、「地域の魅力を発信したい」元気な若者を募集し、茨城県立農業大学校の学生2名が実習を行うことになりました。

実習では、道の駅の駅長業務全般に携わりながら、道の駅を若者の向けにPRするためのSNSによる情報発信等を企画・実践します。

また、城里町内の農家へホームステイし、農業実習を通じて地域住民と交流を図ります。

【実習期間：平成27年8月8日～16日】

道の駅「かつら」



特産品直売センター



にぎわう店内



出典：「電子国土」<http://portal.cyberjapan.jp/>

道の駅「かつら」のホームページは→<http://www.m-katsura.com/>

インターンシップ 受入予定「道の駅」一覧

平成27年7月22日時点

No	都道府県	市町村	道の駅名	受入人数 (予定)※	実施内容(予定)※	実施時期 (予定)※
1	青森県	青森市	なみおか	2	・実際のイベント運営等を体験の上、閑散期である冬期のイベント企画の提案 ・利用者の行動動線の調査・課題把握、顧客のニーズに配慮した売り場のレイアウト変更、POP、ディスプレイ等の実践とその効果検証 ・就業体験を通じ、商品販売技術の習得	8月17日～30日
2	青森県	七戸町	しちのへ	1	・利用者へアンケートによるニーズ調査(年代、利用交通、課題、改善への意見等)を実施し、新幹線利用客を「道の駅」へ誘導するための手法の提案 ・ニーズ調査に基づく、特産品であるながいも・にんにく等を使用した若者の視点からの新たなレストランメニューの提案	8月10日～23日
3	岩手県	遠野市	遠野風の丘	3	・市内の観光周遊を体験の上、利用客のニーズを把握し、「道の駅」を拠点とした市内周遊観光の手法の提案 ・利用者のニーズに基づく、特産品であるわさび・どぶろく等を活用した若者の視点からの新商品等の提案	8月3日～12日 8月17日～23日 8月24日～30日
4	宮城県	大崎市	あ・ら・伊達な道の駅	1	・地域の伝統芸能や伝統技術について地域の方々へヒアリングを実施し、それらを伝承するための「道の駅」の活用方法の提案	8月24日～9月6日
5	秋田県	にかほ市	象潟	1	・特産品である岩ガキ等の海産物を通じた6次産業化やより付加価値の高い商品の提案 ・地域内外の観光施設を体験の上、若者の視点から見たにかほ市の魅力を活かした「道の駅」と連携した周遊観光企画の提案	8月4日～11日
6	福島県	磐梯町	ばんだい	1	・若者の視点から、HP、Facebookを活用した情報発信手法について提案 ・特産品であるそば・リンゴ等を活用したオリジナル商品の提案 ・道の駅イベント企画の提案	8月17日～30日
7	茨城県	常陸太田市	さとみ	1	・地元農家で生産されるシイタケやリンゴを活用したレストランの新メニューや菓子類の考案	8月中旬
8	茨城県	城里町	かつら	2	・特別大使(仮称)として、道の駅を若者の向けにPRするため、SNSによる情報発信等を企画し実践 ・町内農家へホームステイをすることで地域住民と交流を実践	8月8日～18日
9	栃木県	栃木市	みかも	3	・若者の視点から地域の魅力を発見し、専門マーケティングスキルを活かした商品開発の企画提案	8月
10	栃木県	茂木町	もてぎ	10	・周辺の地域資源を調査し、着地型観光プログラムの企画提案 ・オリジナル商品の企画、開発を通して6次産業化実習 ・就業体験を通して茂木町の地方創生モデルを学習	8月1日～5日 及び 9月中旬
11	千葉県	八千代市	やちよ	1	・農産物や加工品、切り花・鉢花を取り扱う農産物直売所での就労体験をとおして、学生目線による道の駅「やちよ」の農産物PR、購買意欲を高める広報や情報発信の企画提案	8月下旬 ～9月上旬
12	山梨県	中央市	とよとみ	1	・道の駅での就労体験(8/9～8/11)を通じて、地産品であるトウモロコシ(ゴールドドラッシュ)など農産物を使った新商品開発の企画提案(9/1～9/3)	8月9日～11日 9月1日～3日
13	長野県	東御市	雷電くるみの里	1	・道の駅業務の体験し、より良いサービスの提供に向けた提案 長野県食と収穫の祭典コンクール県知事賞を受賞した実績のある駅職員とともに、信濃くるみなどの地元農産物を活用したメニューの企画提案	8月11日～18日
14	長野県	青木村	あおき	1	・道の駅の魅力向上を目的としたそば打ちなどの体験型イベントの広報についての企画提案	8月6日～19日
15	富山県	南砺市	福光	1	・近隣の生産者による朝どれ野菜や特産品を活用した弁当の企画提案 ・現在のHPの改善案の提案と、道の駅や特産品・観光情報の発信 等	8月中旬
16	富山県	射水市	カモンパーク新湊	2	・新湊特産「白えび」等を活用した商品の企画提案 ・地域の隠れた名産品・観光資源の調査と、HP・SNSによる情報発信等	8月中旬
17	岐阜県	美濃市	美濃にわか茶屋	2	・地域の特産品である美濃和紙・和菓子・日本酒・佃煮・鮎などの商品陳列、管理等の体験を踏まえた商品の配置提案等 ・直売所の接客体験を活かし、レンタサイクルを活用した周辺観光案内や、施設を活用したイベント等を企画提案	8月8日～12日 8月24日～28日
18	岐阜県	郡上市	古今伝授の里やまと	3	・地域の特産品である生乳加工品等の販売体験を活かし、ポップやキャッチコピーを提案 ・駅構内の温浴施設やレストランの接客体験を活かし、施設を活用したイベントを企画提案	8月～9月

インターンシップ 受入予定「道の駅」一覧

平成27年7月22日時点

No	都道府県	市町村	道の駅名	受入人数 (予定)※	実施内容(予定)※	実施時期 (予定)※
19	岐阜県	池田町	池田温泉	3	・温浴施設やレストランの接客体験を活かし、イベント広場の活用方法について企画提案 ・観光案内等の接客補助を通して、観光案内等を企画立案	8月～9月
20	静岡県	富士市	富士川楽座	1	・道の駅富士川楽座内での各店舗における接客体験から商品配置やポップ等を提案 ・来客者の声を元に「道の駅」の魅力をHPやSNSによる情報発信	8月17日～26日
21	三重県	大台町	奥伊勢おおい	1	・食堂部門の運営方法、採算のとれる形態の提案 ・自社農場(予定)での農作業や野菜集荷、それらに関する野菜の販売方法の提案等 ・販売方法の提案を補完するためHP、SNSでの情報発信方法の提案	9月中旬 (10日間程度)
22	京都府	福知山市	農匠の郷やくの	1	・農業体験(作物の管理、収穫、出荷調整、肥料管理等)を踏まえ、ぶどうやブルーベリーを活用した新商品の企画・提案 ・地域産品(そば)を売り出すためのSNSを活用した広報企画・提案や、より魅力あるHP内容の企画・提案	8月24日～9月4日
23	和歌山県	北山村	おくとろ	1	・「紀伊山地の霊場と参詣道」【世界遺産(文化遺産)】や地域の歴史や文化について、若者にも魅力あるPR方法・内容の企画・提案 ・北山村の観光名物である「いかだ下り」時の『語り部』の実践を踏まえ、若者目線を加えたより魅力ある『語り部』の提案	8月3日～22日
24	鳥取県	琴浦町	ポート赤碕	1	・若者目線でのSNS等による、琴浦町の話や「道の駅 ポート赤碕」の売り場情報の発信 ・日本海の新鮮な魚介類や町内農産品を用いた道の駅オリジナルの商品を提案	8月10日～31日 (期間内の2週間)
25	岡山県	笠岡市	笠岡ベイファーム	3	・笠岡市の地域資源である笠岡湾干拓地、及び笠岡諸島の現地に向き、地元の食材や観光資源などの現地調査を実施。現地調査での結果をもとに、「道の駅」オリジナル商品を開発・提案 ・道の駅イベントの企画や運営の補助 ・若者目線でのSNS等を活用した道の駅の情報発信	8月19日～29日
26	広島県	北広島町	舞ロードIC千代田	1	・若者の視点での店舗の演出、商品のPOP企画や製作 ・「道の駅」のイベント企画や運営の補助 ・町内の観光資源や産業形態を踏まえ、北広島町の魅力を発信していくため、「道の駅」を拠点とした観光や産業振興などの地域づくりに関する提案	8月26日～9月9日
27	香川県	小豆島町	小豆島ふるさと村	1	・カヤック体験、キャンプ施設・プール施設の管理を通して、島の特色を活かした若者目線での新しい体験メニューツアーの立案 ・若者の視点から、新たな情報発信ツール(ブログ、フェイスブックなど)を活用した「小豆島」も含めた観光PRの企画 等	8月1日～31日
28	愛媛県	今治市	しまなみの駅御島	1	・大三島の観光ボランティアガイドの補助体験により、大三島の良さを知ってもらい、現在の道の駅組織にはない、若者の視点から見た大三島の魅力やインターン中の過ごし方について、HPやFBを使っでの情報発信 ・実際に大三島等をサイクリングしてもらい、同世代のサイクリスト誘致に向けた、新たな着地型観光サイクリングプログラムの企画・提案 等	8月17日～31日
29	高知県	四万十町	あぐり窪川	1	・「四万十生姜」及び「仁井田米米粉」を使用したレストラン及びファーストフードメニューの提案・開発 ・SNSを活用し、学生の若い感覚を取り入れた、「四万十生姜」及び「仁井田米米粉」の生産者情報、加工品開発情報の発信 等	8月中旬
30	長崎県	西海市	さいかい	1	・イベント「ジャンボかぼちゃコンテスト」運営に対する新たな提案 ・地元産品のみかん、びわ等を活用した新たな物産品のアイデア提案 ・HP、SNSを活用した観光・イベント等の情報発信 等	8月7日～23日
31	熊本県	菊池市	旭志	1	・旭志牛と特産品(ネギ・椎茸・お茶)とのコラボレーション新商品企画開発(ネーミング、包装デザインの企画等) ・地域活性化をテーマにした道の駅各部担当責任者、生産者との交流 ・SNSを活用した情報発信方法の企画 等	8月9日～19日
32	大分県	豊後大野市	原尻の滝	4	・ヒアリング等による外国人利用者の道の駅の利用実態、ニーズの調査 ・外国語案内表記を導入すること等による外国人向けサービスの強化についての取組 ・新規顧客やリピーターを確保できるような新規イベントの企画提案 ・若者の発想を取り入れたレストランメニューの開発 等	8月10日～23日
33	宮崎県	日南市	なんごう	3	・観光、特産品等について道の駅周辺地域の魅力を整理 ・アンケート等による道の駅販売商品の市場調査の実施、道の駅経営に対する提案 ・若者の視点で、8月の新たなイベントの企画 ・HP、SNSを活用した観光・イベント等の情報発信方法について企画 等	8月10日～24日
合 計				61		

※記載情報は平成27年7月22日時点の予定であり、今後、大学と「道の駅」で実施に向け調整をする中で変更となる可能性がある。

- 地域の魅力の集まる「道の駅」と、地域づくりや観光学等を学ぶ若者が交流することで、**新たな価値の創造**を図り、観光・地域づくりを担う**将来の人材を育成**。**地方創生**にも寄与。
- **33箇所の「道の駅」**で**約60名**の学生が夏季休暇を利用した実習を実施予定
※この他にもゼミ単位での通年での実習を実施

<実施イメージ>



<実施のメリット>

<大学のメリット>

- **道の駅は、地域の資源が集中し、地方が直面する課題が明確であり、学習するフィールドとして最適**

<「道の駅」のメリット>

- **若者ならではの視点、若者の元気による実行力のある企画の実施**
- **SNSや口コミなどを活用した情報発信**